

# 政策協働市場の展開

-NPO政策提案における情報デザイン分析を通して-

河井孝仁

KAWAI Takayoshi

## 研究の目的

- 「NPOによる政策提案制度」を、主に「情報デザイン」の視点から比較分析



- 電子自治体における「政策協働市場」※の展開について現状把握／提言

※ 河井孝仁「政策協働市場の可能性:静岡県NPOアイデア提案事業の分析から」  
(日本NPO学会第5回年次大会報告)

KAWAI Takayoshi

## 研究の前提

基礎としての「公共経営システム」  
環境としての「電子・自治体」  
機能としての「情報デザイン」  
対象としての「政策」

概念の確認

KAWAI Takayoshi

基礎としての「公共経営システム」

ガバナンス  
(共治)

市民

負託・委任・評価

負託・委任・評価

負託・委任・評価

企業システム

評価・介入・連携

評価・介入・連携

議会/行政システム

NPOシステム

評価・介入・連携

参画

参画

参画

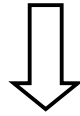
参画

「新しい公共」の経営

KAWAI Takayoshi

## 基礎としての「公共経営システム」

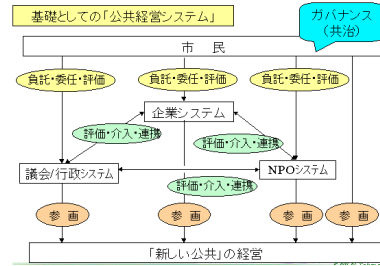
### 目的／機能



- 市民エンパワメントへの貢献
- 多様な主体の公共への参画

### 評価軸

- ① 市民の直接参加が十分に保障されているか、
- ② エージェントである各サブシステムの公共経営への関わりは適切に行われうるか、
- ③ エージェント相互の連携／評価は可能となっているか、
- ④ エージェントである各サブシステムはプリシパルである市民からの負託／評価を十分に受けられるか

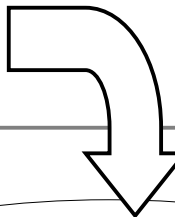


カバナンス  
(共治)

KAWAI Takayoshi

## 環境としての「電子・自治体」

- 所与環境としての「自治体」  
← 議会／行政システムの正統性付与機能
- 傾向としての「電子自治体」  
← e-Japan戦略 I, II



条件／機能

バックオフィスのIT化  
 インターフェースのICT化  
 ICTを利用したプラットフォームの構築

KAWAI Takayoshi

## 機能としての「情報デザイン」

### 情報環境

なぜ「情報デザイン」ということを考えるのか

- ネットワーキングによる参照の容易性、迅速性、多様性
- 双方向／多方向情報交換の確保可能性
- 大量のデータベース構築のたやすさ

質的転換へ

### 定義

人間の活動すべてに関わる情報を、的確な『かたち』にして表現したり、それを人から人へ伝えたり、多くの人々のあいだで共有したりするための営為

渡辺保史『情報デザイン入門』

KAWAI Takayoshi

## 機能としての「情報デザイン」

### 具体的現れ

本論における分析枠組み=注目点

- webの活用状況
- そのユーザビリティ
- ネットワークを活用した双方向性／重層性
- 電子会議室等多様なコンテンツとの連携
- 政策形成に係る情報公開との接続

「リアル」と  
の関係

### 対象としての「政策」

地域の課題に対応して企画／実施される解決策の束  
≠行政／政治の策

KAWAI Takayoshi

## 研究の意義

- ①行政学／公共経営学からは  
「政策協働市場」概念の提出とその展開可能性への提言
- ②社会情報学からは  
情報デザインの視点から見た電子自治体における「プラットフォーム」機能の分析
- ③NPO研究からは  
NPOと多様な主体との「政策連携、政策協働」を可能にする「仕組み」の提示

KAWAI Takayoshi

## 事例分析

大阪府： 提案公募型事業  
静岡県： NPOアイデア活用協働推進事業  
千葉県： 県とNPOとの協働事業提案制度  
千代田区： NPO・ボランティアとの協働に関する政策提案制度



各事例の比較分析

KAWAI Takayoshi

大阪府：提案公募型事業

制度的特徴

コンサルティング活用  
公募テーマ限定

情報デザイン

- 非統一＝全体的な消極性と突出した一部局
- 双方向性／重層性への配慮は見られない
- 他のコンテンツ／情報公開との連携もない

KAWAI Takayoshi

静岡県：NPOアイデア活用協働推進事業

制度的特徴

提案と実施の分離  
柔軟な施策化

情報デザイン

- 未決事業、不採択事業のweb公開
  - 県民からの意見ボックス＝公開での意見交換
  - ユーザビリティの不足
  - 政策評価との連携(実環境)
- } 双方向性  
／重層性

KAWAI Takayoshi

## 千葉県: 県とNPOとの協働事業提案制度

### 制度的特徴

事業枠組みの柔軟性  
NPO担当部局の「翻訳機能」

### 情報デザイン

- 審査講評の公開＝評価基準の明確化／市民力養成
- ユーザビリティ: ワンストップだが一覧性の不足
- 一次審査通過事業へのパブリックコメント  
／コメント内容の原則公開
- 実環境との連携: ちばパートナーシップ市場

双方向性

重層性

KAWAI Takayoshi

## 千代田区: NPO・ボランティアとの協働に関する政策提案制度

### 制度的特徴

プロセス重視

### 情報デザイン

- Web公開の徹底: 提案時点での内容公開  
NPOによるプレゼンテーション内容公開  
NPOと事業所管課との検討・協議経過公開
- 区民からの意見入力の容易さ

透明性

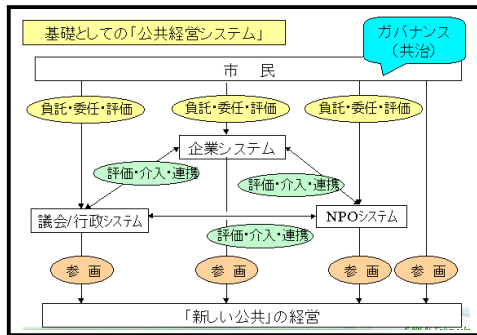
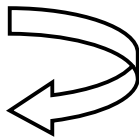
(閉じた) 双方向性

KAWAI Takayoshi

## 事例比較分析

公共経営システムを基礎においた  
情報デザインへの

評価軸



- ① 公共への市民直接参加の保障
- ② エージェントの公共経営への関わりの確保
- ③ エージェント相互の連携／評価の可能性
- ④ 市民からエージェントへの負託／評価の保持

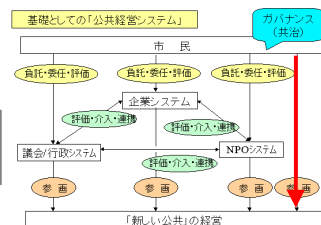
KAWAI Takayoshi

## ① 公共への市民直接参加の保障

「市民力」養成  
への貢献

NPOによる政策提案についての  
的確かつ一覧可能な情報公開

地域課題の存在確認＋各政策提案に対する  
適切な評価＝課題解決の仕組みの理解

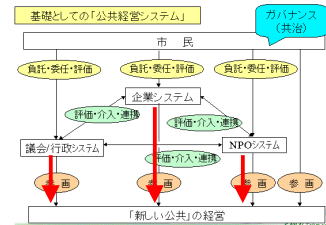


大阪府	採択事業の概要のみ
静岡県	提案時から閲覧可能 採否コメント閲覧可能 市民及び他の エージェントからの評価閲覧可能、ユーザビリティに課題
千葉県	審査講評公開に特色
千代田区	プロセスの公開に重点、個別事業ごとの公開中心

KAWAI Takayoshi

## ② エージェントの公共経営への関わりの確保

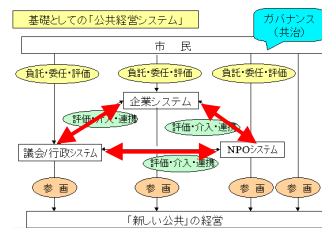
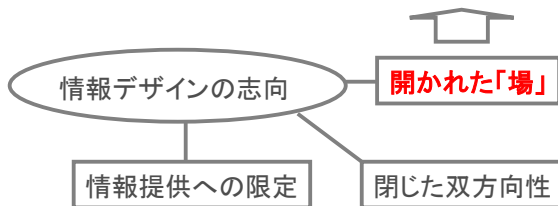
議会／行政サブシステムにとどまらず、公共経営システム全体への参画としての「政策提案」



大阪府	Webによる公開への消極性 →行政との閉じた関係	提案テーマ限定
静岡県	Webによる公開 ○	提案テーマ行政発＋自由
千葉県	Webによる公開 △	ちばパートナーシップ市場
千代田区	Webによる公開 ◎: 個別	提案テーマ行政発＋自由

KAWAI Takayoshi

## ③ エージェント相互の連携／評価の可能性

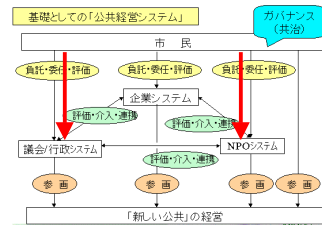


大阪府	不十分な情報提供
静岡県	「場」への志向と個別事業ごとのデザインの齟齬
千葉県	
千代田区	透明性への志向＝個別事業ごとのデザイン

KAWAI Takayoshi

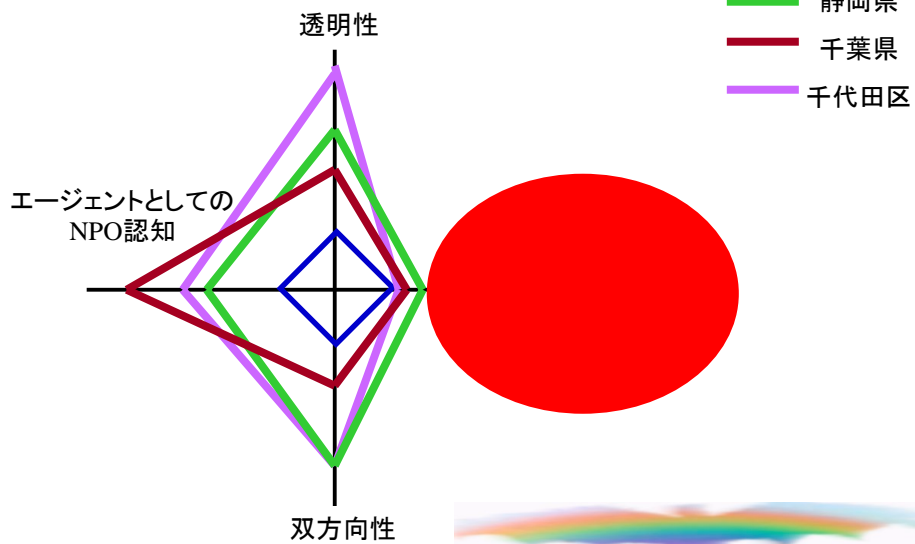
#### ④ 市民からエージェントへの負託／評価の保持

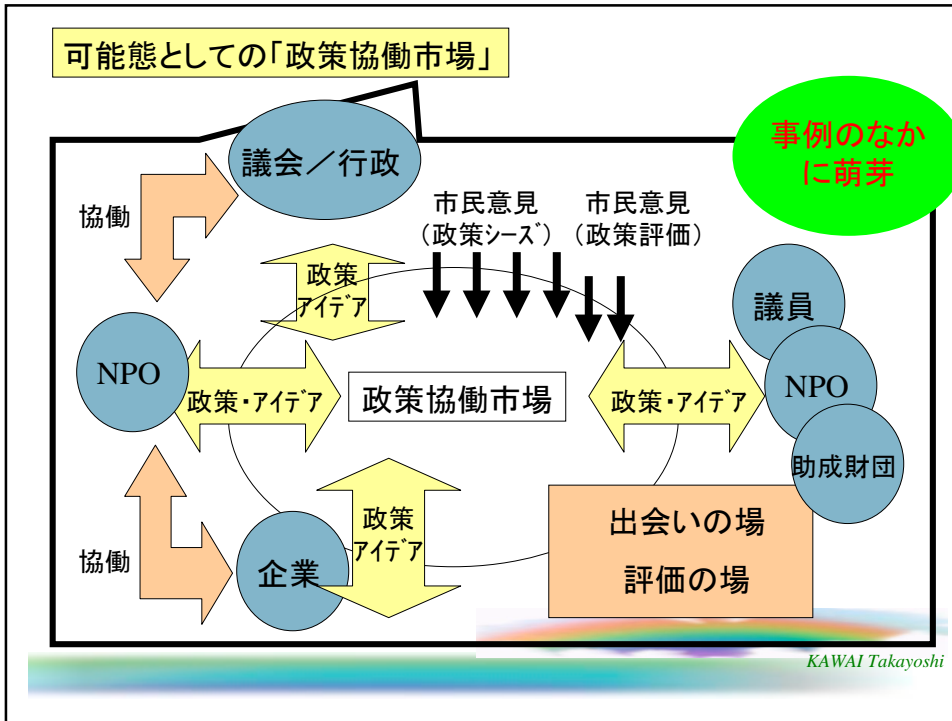
- 個別エージェントへの評価  
...市民意見入力=双方向性
- システムとしてのエージェントへの評価  
...「場」への志向



大阪府	市民意見入力デザインなし	「場」への志向なし
静岡県	デザインあり、ユーザビリティに課題	個別事業ごとのデザイン
千葉県	市民意見入力デザインなし	リアル=パートナーシップ市場
千代田区	メールアドレス	個別事業ごとのデザイン

#### 情報デザインから見た「NPO政策提案」比較





**「政策協働市場」への評価**

基礎としての「公共経営システム」

ガバナンス (共有)

市民

責任・委任・評価

責任・委任・評価

企業システム

議会行政システム

NPOシステム

評価・介入・連携

評価・介入・連携

「新しい公共」の経営

- ① 公共への市民直接参加の保障  
政策の「市場」への提示、「値付け」＝議論／評価の過程も公開、市民自ら「値付け」に参画可能→市民力の養成
- ② エージェントの公共経営への関わりの確保  
専権的に公共に関わると考えられていた議会／行政サブシステム以外に、政策の売り手がNPOシステムや企業システムまで拡大
- ③ エージェント相互の連携／評価の可能性  
多様な公共エージェントが「政策」を媒介に、他の「公共エージェント」と出会い、相互の連携／評価を行う
- ④ 市民からエージェントへの負託／評価の保持  
評価されるものは、単に「政策」ではなく、その提案者＝売り手であるエージェント

tyoshi

### 政策協働市場の課題

- 市場運営者は誰か？ = 行政？
- 多様な参加者は確保可能か？ = ポータル？
- 議会のもつ意味は？ = 正統性付与？
- 必要な「ツール」は何か？ = 電子会議室？
- そもそも「政策協働市場」は「市場」の構成要素とは？  
「市場」なのか？



「編集」による「市場の構造化」

KAWAI Takayoshi

### 「編集」による「市場の構造化」

「場所」を用意するだけでは機能しない

- 多様な情報の整理／活性化
- 市場における情報の非対称性の軽減＝情報付加／存在周知／行政等のエージェントに対し、情報提供勧誘

仲買人／商社



大阪府「提案型公募事業・コンサルティング契約」  
千葉県「協働事業提案制度・NPO担当部局による『翻訳』機能」

KAWAI Takayoshi

## 政策協働市場の課題

- 市場運営者は誰か？ = 行政？
- 多様な参加者は確保可能か？ = ポータル？
- 議会のもつ意味は？ = 正統性付与？
  
- 必要な「ツール」は何か？ = 電子会議室？
  
- そもそも「政策協働市場」は「市場」の構成要素とは？  
「市場」なのか？



## ICTを活用したプラットフォーム構築

KAWAI Takayoshi

## ICTを活用したプラットフォーム構築

「政策協働市場」という情報デザイン

電子自治体の条件／機能

- バックヤードのIT化
- インターフェースのICT化
- ICTを活用したプラットフォームの構築

共通の言語や信頼関係、参加する誘因が生まれる仕組みを提供して、参加者の相互作用を活性化させる存在

議会／行政サブシステムは、少なくとも現状において民主主義的な正統性付与機能をもつことから「共通の言語」をジェネレートする機会に恵まれるとともに、法的な信頼を担保可能

But ...

KAWAI Takayoshi

### 政策協働市場の課題

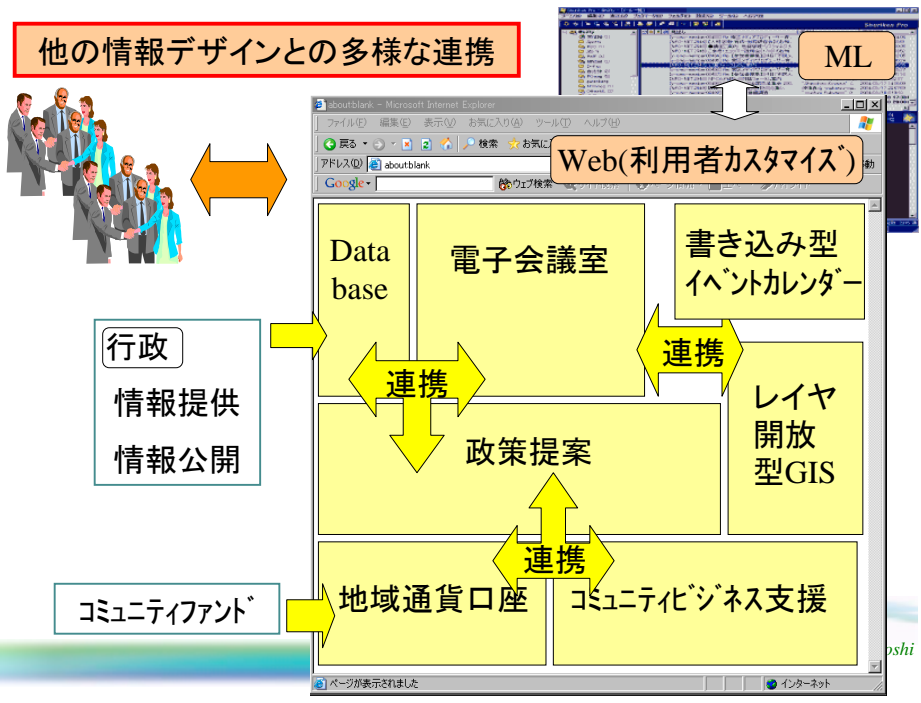
- 市場運営者は誰か？ = 行政？
- 多様な参加者は確保可能か？ = ポータル？
- 議会のもつ意味は？ = 正統性付与？
- 必要な「ツール」は何か？ = 電子会議室？
- そもそも「政策協働市場」は「市場」の構成要素とは？  
「市場」なのか？



### 他の情報デザインとの多様な連携

KAWAI Takayoshi

### 他の情報デザインとの多様な連携



ありがとうございました

河井 孝仁

／静岡県

／名古屋大学大学院情報科学研究科博士後期課程

BZB14506@nifty.ne.jp

<http://homepage3.nifty.com/tacoh/>



*KAWAI Takayoshi*